

出前授業「防災さんぽ授業」授業例

まちに出て、地震がおきたとき危険なところはないか調べに行こう

実施校：五月丘小学校 6年生2組 1クラス

授業実施日：2021年6月2日（水曜日）2時間目、3時間目 9：40～11：40

サポート：NPO 法人いけだエコスタッフ

単元：小学6年生 総合的な学習の時間

目標：子どもたちの視点で、まちあるき（防災さんぽ）を行い身近にある防災に関する様々な施設や設備・危険な所などを発見します。

ねらい：①学校の周りや通学路の様子など身近な環境に関心を持ち、災害時の危険について知る。

②災害時の危険に対する予知について

授業概要：2時間目（9：40～10：25）3時間目（10：45～11：40）

時間	流れ	内容
9：40	はじめに (與北先生)	運動場に集合 防災学習「防災さんぽ」の流れについて説明します。 ・グループ分けと引率者の確認 ・今日することの確認、タブレット、地図データの確認 ・注意事項（広がらない、給水など）
	防災さんぽ スタート	グループ単位で、通学路の調査をしました。 ・普段の通学路を中心に地震などの災害時に危険と思われる箇所、設備と災害時に役立つと思われる設備など気が付いたものを調査しました。 ・「3つの『ない』、知ってる？」 「落ちてこない」 「たおれてこない」 「移動してこない」の3つ。 「地震が起きたときには、『ない』ところに行きましょう」 ・危険を発見するポイントは3つ。 ①頭上（看板など落ちてくるものを発見） ②目の高さ（ブロックべいなどたおれてくるものを発見） ③足もと（放置自転車などにげ道をふさぐものを発見） ・地震の時に役立つようなもの 消火器や消火栓（せん）…地震のあとに火事が起これば必要 災害救援自動販売機…停電の時でも使える
11：40	学校に帰着	

【意識するSDGsゴール】



【防災さんぽのようす】

